

令和8年度 福井大学教育学部

入学者選抜学力検査（後期日程）問題用紙

小論文

学校教育課程（統合型）

注意事項

- 1 この問題用紙は、「解答始め」の合図があるまで開かないこと。
- 2 「解答始め」の合図の後、解答を始める前に、解答用紙の所定の欄すべてに受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙の所定の解答欄に収まるように記入すること。
- 4 解答用紙のホッチキスは外さないこと。
- 5 解答の下書きには、別配布する白紙を使用すること。
- 6 試験終了後、解答用紙を回収する。この問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってもよい。

（11枚のうち第1枚目）

第1問

次の文章を読み、設問に答えよ。

著作権の都合上、この部分は公開しておりません

令和8年度 福井大学教育学部入学者選抜学力検査（後期日程）問題用紙
小論文（学校教育課程・統合型）

（11枚のうち第2枚目）

著作権の都合上、この部分は公開しておりません

令和8年度 福井大学教育学部入学者選抜学力検査（後期日程）問題用紙
小論文（学校教育課程・統合型）

（11枚のうち第3枚目）

著作権の都合上、この部分は公開していません

令和8年度 福井大学教育学部入学者選抜学力検査（後期日程）問題用紙
小論文（学校教育課程・統合型）

（11枚のうち第4枚目）

著作権の都合上、この部分は公開していません

令和8年度 福井大学教育学部入学者選抜学力検査（後期日程）問題用紙
小論文（学校教育課程・統合型）

（11枚のうち第5枚目）

著作権の都合上、この部分は公開していません

（岸圭介『学力は「ごめんなさい」にあらわれる』による）

設問1 ことばの意味や価値にずれが生じる要因について、著者の主張をまとめよ。

設問2 子ども同士の会話においても、ことばの意味や価値のずれは往々にして生じる。以下の場面において、あなたは、「ねえ、ちょっとうざいんだけど」と話した子どもと、その子どもを含む学級に対して、教師として具体的にどのようなように対応するのか、本文の内容を踏まえて述べよ。

著作権の都合上、この部分は公開していません

（岸圭介『学力は「ごめんなさい」にあらわれる』による）

第2問

図1～4の統計資料を見て、設問1、及び設問2に答えよ。また、図5～7の統計資料を見て、設問3に答えよ。

図1は、日本を含む9か国の合計特殊出生率^注の年次推移（1970～2020年）を示している。人口を維持するためには2.06～2.07が必要とされている。日本の合計特殊出生率は2024年に1.15と過去最低となった。

^注合計特殊出生率：15～49歳までの一人の女性が一生のうちに産む子どもの数を示す指標。

著作権の都合上、この部分は公開していません

（11枚のうち第7枚目）

図2は、日本を含む9か国の1955年生まれと1975年生まれの女性の生涯無子率^{注)}を示している。それぞれ2005年と2024年に調査した。日本の1975年生まれの女性の生涯無子率は28.3%とOECD（経済協力開発機構）加盟国で最も高い割合であった。

^{注)} 女性の生涯無子率：生涯、子どもを産んだことがないと考えられる人の割合。

著作権の都合上、この部分は公開していません

図2 1955年, 1975年生まれの女性についての生涯無子率
1955年, 1975年生まれの統計値がない場合は直近5年以内の値を利用した（韓国, フランス）.
Society at a Glance 2024 (OECD, 2024), <https://stat.link/mvkw3b>より抜粋

（11 枚のうち第 8 枚目）

図 3 は、日本を含む 9 か国の男性と女性の 50 歳時の未婚率を示している。日本の未婚率は男性で 28.3%、女性で 17.8%であった。

著作権の都合上、この部分は公開していません

図3 9か国の性別ごとの50歳時の未婚率
国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2024）」より抜粋

図 4 は、日本を含む 9 か国の女性の初産の平均年齢を示している。日本の女性が第一子を産む平均年齢は、2000 年で 28.0 歳、2020 年で 30.7 歳であった。

著作権の都合上、この部分は公開していません

図4 2000年, 2020年における9か国の女性の初産の平均年齢
OECD FAMILY DATABASE(oe.cd/fdb) 「SF2.3: Age of mothers at childbirth and age-specific fertility」より抜粋

（11 枚のうち第 9 枚目）

図 5～7 は内閣府「令和 2 年度少子化社会に関する国際意識調査報告書」より抜粋したものであり、各国の 20～49 歳の男女を対象とした出産や子育てに関する意識調査結果を示している。

図 5 は、日本、フランス、スウェーデンの男女が「理想の子どもの数」を 2010 年、2015 年、及び 2020 年に回答した結果である。

著作権の都合上、この部分は公開していません

図 5 日本、フランス、スウェーデンにおける「理想の子どもの数」の回答結果

（11枚のうち第10枚目）

図6は、2020年の調査において、図5の質問で「理想の子どもの数」より実際の子どもの数が少ない人を対象として、「さらに子どもを増やしたいか」という質問への回答結果である。

著作権の都合上、この部分は公開していません

図6 日本、フランス、スウェーデンにおける「さらに子どもを増やしたいか」の回答結果（2020年）

図7は、2020年の調査において、各国の男女が「子どもを産み育てやすい国だと思うか」という質問への回答結果である。

著作権の都合上、この部分は公開していません

図7 日本、フランス、スウェーデンにおける「子どもを産み育てやすい国だと思うか」の回答結果（2020年）

令和8年度 福井大学教育学部入学者選抜学力検査問題（後期日程）
小論文（学校教育課程・統合型）問題用紙

（11枚のうち第11枚目）

設問1 図1～4に示す9か国の統計値についての解釈で正しいものに○を誤っているものに×をつけよ。

- ①2020年時点でいずれの国も人口を維持できる合計特殊出生率に達していない。
- ②2005年に比べ2024年の生涯無子率が低下した国は2000年以降の合計特殊出生率が上昇傾向にある。
- ③他国に比べて50歳時の女性の未婚率が高い傾向にあるオランダ、フランス、スウェーデン、ノルウェーは2024年の生涯無子率も他国に比べ高い傾向にある。
- ④女性の初産平均年齢の20年間の推移（2000年～2020年）と生涯無子率の20年間の推移（1955年生まれ～1975年生まれ）には関係があるとはいえない。

設問2 図1～4に示す統計値から考えられる日本の特徴を諸外国との比較から説明せよ。

設問3 設問2を踏まえ、図5～7の意識調査結果からわかる日本の問題をまとめよ。また、その問題に対して日本はどのような対策をとるべきと考えられるか、論ぜよ。

